

# 令和3年度 第2回浜松市医療的ケア児等支援協議会

日時：令和4年3月2日（水）

午後2時から

開催方法：Zoomによるオンライン

## 次 第

### 1. 開会

### 2. 議題

(1) 医療的ケア児等支援コーディネーター活動実績報告 1ページ

(2) 【意見交換】医療的ケア児等への支援に関する各分野の課題や意見

(3) 医療的ケア児等支援者養成研修報告 2～9ページ

(4) その他

- ・令和3年度医療的ケア児を持つ保護者への意見を伺う会について
- ・医療的ケア児等の支援体制整備に向けた現状把握調査について

### 3. 閉会

## 浜松市医療的ケア児等支援協議会 委員名簿

### 外部委員

(敬称略)

	所 属	氏 名	備 考
	浜松医科大学	福田 冬季子	
	聖隷クリストファー大学	宮谷 恵	
会長	浜松市発達医療総合福祉センター はままつ友愛のさと	遠藤 雄策	
	総合病院 聖隷浜松病院 総合周産期母子医療センター新生児科	大木 茂	
	浜松市訪問看護ステーション連絡協議会	尾田 優美子	
	岡崎内科医院	岡崎 貴宏	
	県立西部特別支援学校	八幡 正信	
	総合病院 聖隷三方原病院 聖隷おおぞら療育センター	沖村 宏美	
	浜松地区肢体不自由児親の会	里 あゆ子	
	在宅医療ケアのある子を持つ親の会	清水 恵美	
	浜松市中障がい者相談支援センター	梶村 美由紀	
	相談支援事業所アグネス	鈴木 崇之	
副会長	浜松市障がい者基幹相談支援センター	雨宮 寛	

### 庁内委員

	課 名	氏 名	備 考
学校教育部	指導課	石川 博則	
健康福祉部	健康増進課	平野 由利子	
こども家庭部	幼児教育・保育課	松下 直樹 (代理:井川 宜彦)	
こども家庭部	子育て支援課	小山 東男 (代理:小林 章吾)	
健康福祉部	健康医療課	島 和之	

### 事務局

課 名	氏 名	備 考
浜松市社会福祉事業団	尾関ゆかり	
	阿部 祥美	
	宮司 登志江	
健康福祉部 障害保健福祉課	久保田 尚宏	
	仲井 俊二	
	柴田 多美子	
	山内 愛美	

# 浜松市医療的ケア児者等コーディネーター実績報告

## 1 相談実績(令和3年4月～令和3年12月)

相談業務	実人数	延べ人数
本人・家族等個別ケースの相談	12	54
事業所・関係機関からの相談	31	118

関係機関の内訳 (延べ人数)	行政	特定相談	医療機関
	27	22	20
	委託相談 15	訪問看護 12	その他 9
	保育園 8	学校 4	障がい事業所 1

### その他の業務

医療的ケア児者等名簿登録の管理	新規29件、更新29件
医療的ケア児等支援者養成研修会の開催	全3回実施 10月6日 92名参加 10月19日 65名参加 11月10日 73名参加
医療的ケア児等の家族との意見交換会の開催	1回実施(令和4年3月実施予定有)
災害時支援	災害時個別支援計画作成4件 事業所相談1件
地域体制づくり(医療機関、訪問看護、障がい者相談センター、福祉事業所、エリア部会、教育委員会、小学校、保育園)	40件

## 2 実績から考えられる各関係機関のニーズと課題

関係機関	ニーズ	課題
特定相談 委託相談	災害時個別支援計画作成についての認識が浅いため、計画の概要を知りたい。 災害時に関わる具体的に確認すべき内容がわからないことが多く、知りたい。	災害時個別支援計画の作成は報酬にながらず、相談員の災害時意識が低い現状。計画様式の周知を行い、防災意識の向上や災害時支援として個別計画の必要性につなげていけるよう、災害時支援強化月間の実施を検討。
特定相談	計画相談支援事業所の実態調査を実施。 医ケア児者の計画作成の経験がない相談員は知識不足のため計画作成に不安が大きい。医ケア児者の受け入れ事業所が少なく、地域の偏りが大きく利用者が困っている現状を伝えたい。	相談支援専門員の研修受講率は、加算要件必須となる県主催の研修に比べて、市主催の研修参加が少ない現状。資格取得にとどまらず、医ケア児者への支援を実際に行える相談支援専門員の育成のためのOJTが必要。
医療機関	在宅移行時に、医ケア児者、家族の支援を地域と一緒に共有していきたい。 相談しても良いケースなのか迷うこともあり、対象の方や相談しても良いケースなのか知りたい。	医療機関により相談件数にばらつきがあり、在宅に移行する医ケア児者の全ケースの把握が困難な状況である。在宅移行時のクリニカルパスにコーディネーターとの連携を加えていただけよう、医療機関や訪問看護ステーションとの連携を強化していく。
園	医療的ケア児や家族のことをもっと知りたい。医ケア児が入園する際には、早い時期に研修を受けたい。	園・学校ごとに医ケア児への支援体制に差があり、園・学校内での多職種連携、保護者への対応、医ケア児の発達特性の理解と支援、他機関との連携不十分など様々な課題があった。障害福祉分野機関との連携、園・学校で医ケア児を支援している看護職や養護教諭同士の連携体制を構築する。
学校	医療的ケア児の支援方法を勉強したい。教育と看護師がより良く融合できる環境を構築していきたい。	

# 令和3年度 浜松市医療的ケア児等支援者養成研修 アンケート結果について



浜松市 障害保健福祉課

## 研修内容

日程	内容	講師
10月6日	基調講演: 医療的ケア児等への口腔ケア	健康増進課 伊藤梓歯科医師
	当事者の保護者のお話 「医療的ケア児等の日常生活と支援者に期待すること」	あおむし会 杉本道絵氏
	医療的ケア児等の在宅生活に向けての支援	おおぞら療育センター 真木希看護師
	“わかりやすい”医療的ケア児等と家族の在宅生活	浜松市医療的ケア児等コーディネーター
10月20日	医療的ケア児等を支援する機関の機能と課題	訪問看護ステーション住吉第2 松下麻里子氏 相談支援事業所アグネス 鈴木崇之氏 佐鳴台幼稚園保健師、幼児教育・保育課 指導課、公立小学校養護教諭 浜松市医療的ケア児等コーディネーター
	ディスカッション 動ける医療的ケア児等の生活の自立に向けて 支援機関ができることを考えよう	
11月10日	看護研修 医療職ではない支援者ができることってなんだろう ・緊急時対応 ・医療的ケア児等の生活の自立に向けて支援者が知ってきたいこと	聖隷浜松病院 小児看護専門看護師 高 真喜氏

## 参加人数と内訳

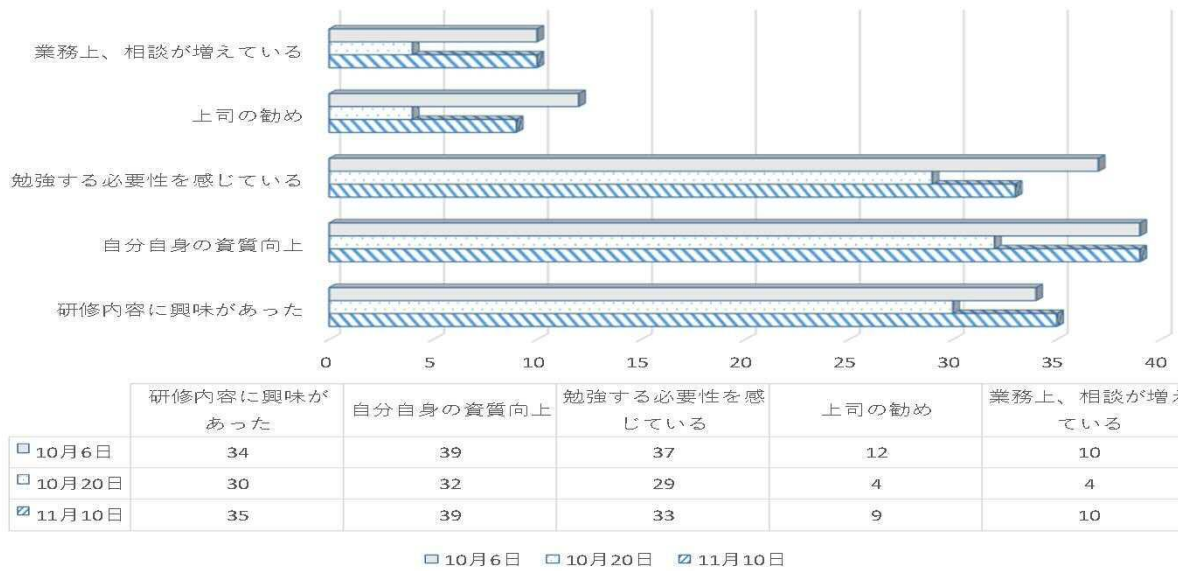
参加人数(実)140人、参加人数(延)230人

日程	相談 (委託相談、 計画相談)	サービス事 業所	教育 (養護教諭、 学校看護師)	保育 (幼稚園、保 育園)	訪問 看護	健康 づくり課	社会 福祉課	合計
10/6	12	3	10	40	7	12	8	92
10/20	9	1	7	36	2	5	5	65
11/10	9	3	11	33	1	9	7	73
合計 (延人数)	30	7	28	109	10	26	20	230

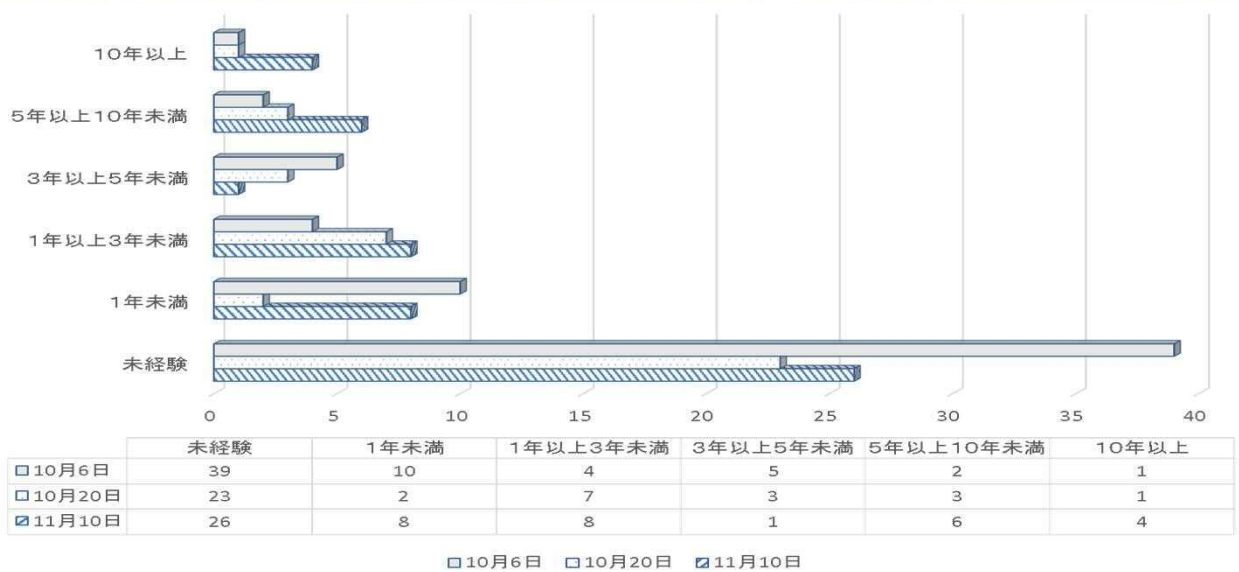
## 受講アンケート結果

日程	受講者数	回収数	回答率
10月6日	92	61	66.3%
10月20日	65	39	60.0%
11月10日	73	53	72.6%

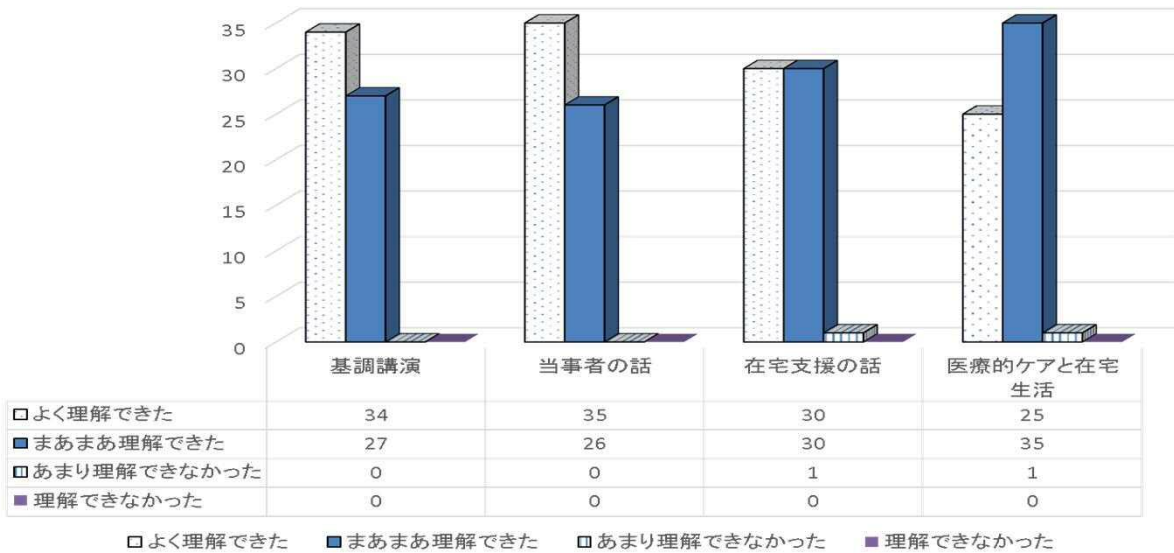
## 受講理由(複数回答可)



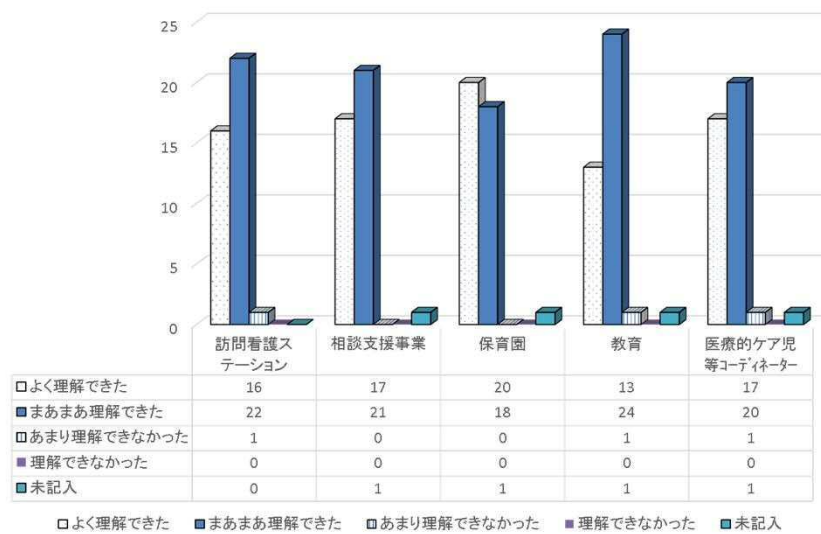
## 経験年数



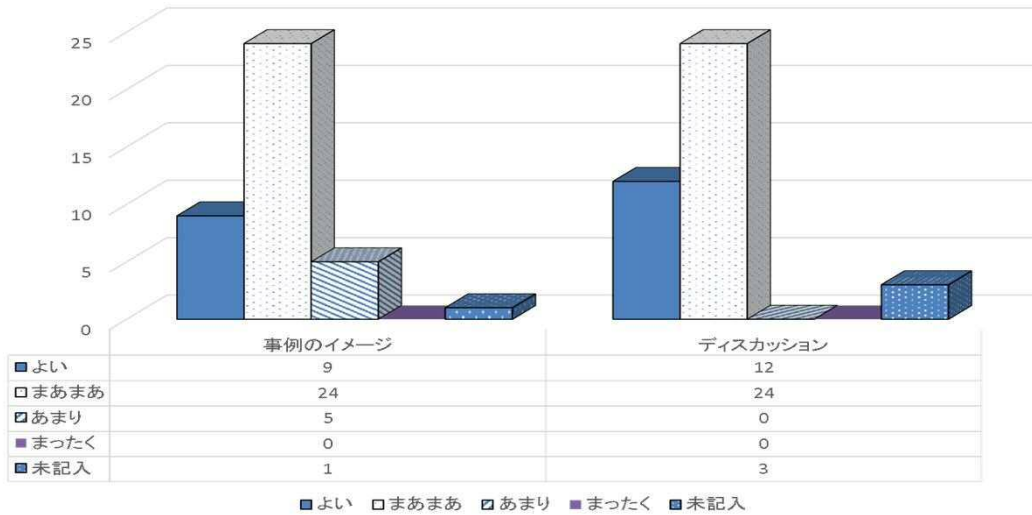
## 10月6日研修の理解度



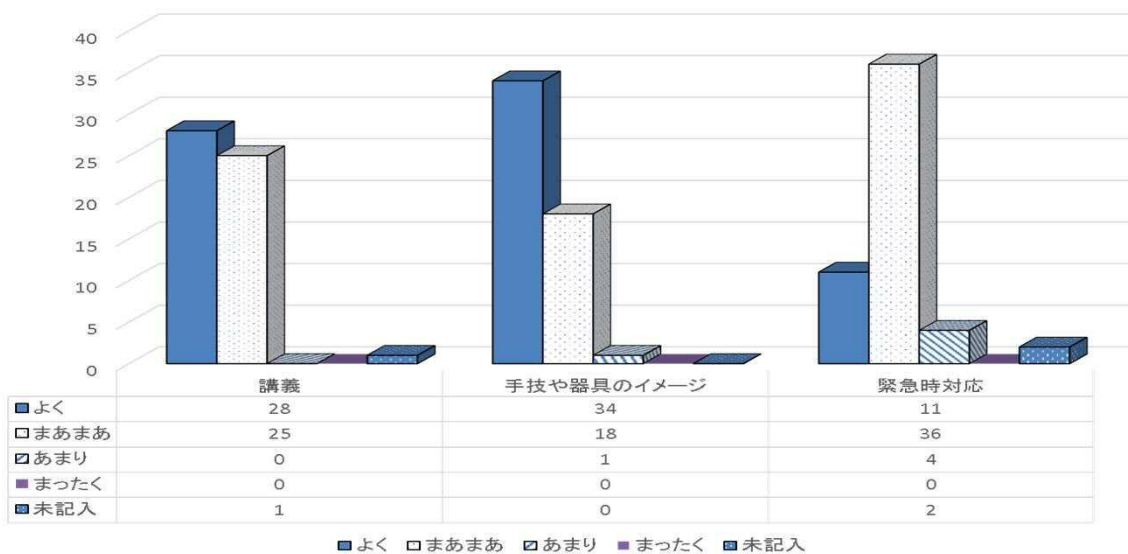
## 10月20日研修の理解度①



## 10月20日研修の理解度②

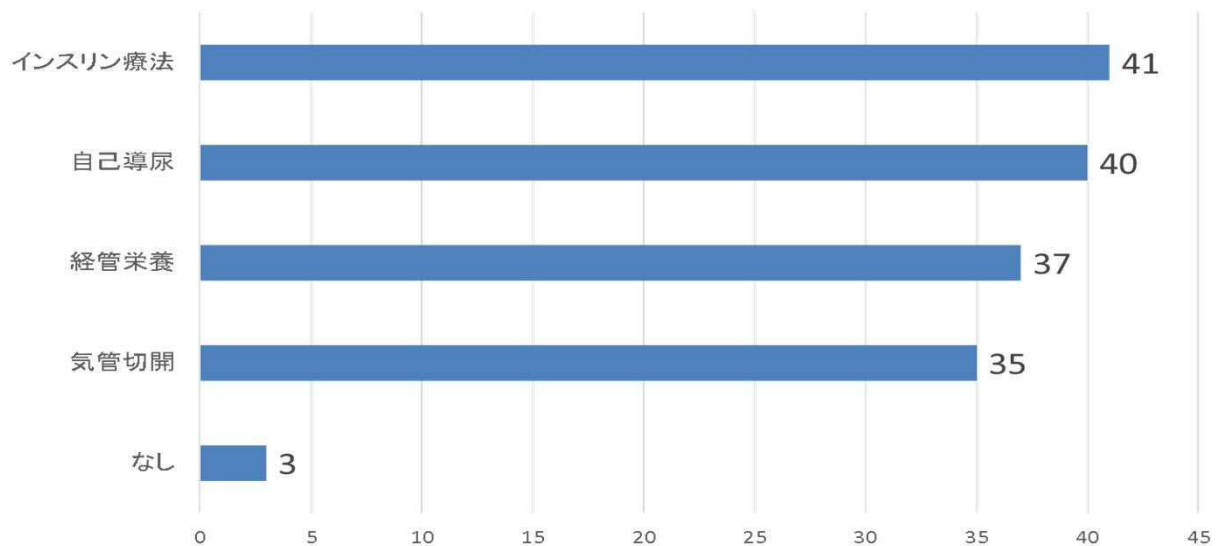


## 11月10日研修の理解度





## 参考になった医ケア内容(複数回答可)



## 保育分野 意見・感想

- 様々な支援機関と連携して協働していくことが支援する上で不可欠であると痛感した。
- 医療的ケア児を地域でどのように支えていくか考える機会がなかったので、そのような視点を持てたことはとても良かった。
- 専門用語もあり、すんなり理解できないところもあったが、知ることでハードルが低くなっていくと思うのでこれからもこのような研修に多くの人に参加できると良い。
- 医療的ケア児を取り巻く支援機関とそのつながりについて知ることができたので、積極的に相談したい。
- 医療的ケア児の頑張る姿をほめたり、認めたり、見守ることが保育士にできることだと聞いてほっとした反面、いざ現場にいたら不安も大きいのではないかと。
- 当たり前に通いたいところに通える体制づくりが始まっていることを知ることができて良かった。
- 実際に器具や手技を見せてもらったので、わかりやすかった。

## 教育分野 意見・感想

- 医療的ケア児の在宅生活に関する話が聞けたので良かった。
- 今回のように「つながる場」を作っていただくことで、徐々に連携の輪が広がっていくのだと思う。このような研修はとても貴重な機会だと思う。
- 研修を通して「連携」の大切さを感じた。医療現場から「地域とつながっていきたい」「気軽に連絡を」という温かいメッセージをいただけたため、とても心強いと感じた。
- 病院看護師さんが全てを学校に任せるのではなく、一緒に考えるというスタンスを持っていることが心強かった。学校で対応すべきこと、やらなくてよいことを具体的に説明してもらえて良かった。
- 発達の特性を持つ医療的ケア児や様々な経験を経て就学先にたどり着き、学校に対して強い思いを持っている保護者もいることから医療的ケアの提供だけでなく、医療的ケア児を取り巻く様々な視点での研修もあると良い。

## 看護・保健分野 意見・感想

- 保育園での受け入れの経緯や医ケア開始までの実際の動きを知ることができて良かった。
- 看護師として当たり前に使っている言葉でも、ご家族や他支援者にはわかりにくいこともあるため、わかりやすい指導やサポートをしてきたい。
- 医ケア児の在宅生活や支援者がどのような流れで支援しているのか知ることができた。色々な形での連携支援が必要だと感じた。
- 在宅生活での保護者の忙しさ、災害時の苦労など、具体的に知ることができ、とても貴重な経験となった。

## 相談支援分野 意見・感想

- 医療的ケア児の在宅生活の大変さがよくわかり、必要としている支援やニーズを聴けたことはとても良かった。
- 医療的ケア児に関してほとんど知識がなかったので、実際の医療器具や手技を見せてもらったり、家族の心情、退院までの流れについて話を聴くことができ、とても参考になった。
- 医療の知識がない人にもわかりやすい研修で良かった。
- 医療職ではない支援者は、医療的ケアに関して「こわい」イメージがあると思うが、ただ「こわい」で終わらせるのではなく「こわいからこそ気をつける必要がある、どこに気をつければ良いか」というところまで知ることが大切だと感じた。
- 器具や手技は、オンラインではなく実際に物や様子を見てみたかった。

## 研修に関する意見や感想

- 勤務中で参加できない職員も多いため、是非アーカイブ配信をしてほしい。
- 現場(園、学校等)の見学をしたい。物品や手技の取扱いを実際に見たい。
- 医療的ケアの知識だけを習得しても、子ども達が園や学校で活動できなければ意味がないため、医療的ケア児が園や学校で、どのようにしたらみんなと一緒に過ごしていけるかを考える機会があると良い。
- 1講座のみの受講も可能だったため参加しやすかった。来年度は受講できなかった研修に参加したい。
- 医療的ケア児の家族への精神的フォローや対応について学ぶ機会があると良い。
- 園や学校で医療的ケア児を受け入れるにあたり、事前に研修を受けることができる体制づくりをしてほしい。
- 同じ内容の講義もあったため、内容を精査して1つ1つの講義時間を長くとってももらえると、ゆっくり話を聴くことができると良いのではないかと。
- 相談機関への連絡手順など、わかりやすく教えてほしい。
- 関係機関による意見交換は、来年度も是非研修に取り入れてほしい。
- 関係機関が交流できる場面を作ってほしい。

# 今後の研修で聞いてみたい内容

## 医療的ケア児について

医療的ケア児の成長について  
健常児との違い等

医療的ケア児の発達の促し方

## 家族について

家族支援、兄弟支援

当事者、保護者の話  
EX:困っていること、求める支援

## 医ケア児の就園や就学、園や学校での対応について

医ケア児を受け入れている  
園、学校、事業所の話

医ケア児の就園、就学状況  
就園、就学における課題

医療的ケア児を受け入れるに  
あたって準備すること

緊急時の対応  
マニュアル等具体的な内容

医療職ではない支援者として  
できること、気にかけては  
いけないこと

保護者対応、保護者支援

## 機関連携

機関連携の方法(連絡先、連絡方法、各機関とのつながり方等)